



平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月14日 東

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所  
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室部長 (氏名) 新實 啓悦 (TEL) 06-6251-6803  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	19,855	△0.9	253	△36.5	439	△29.7	221	△33.5
26年5月期第1四半期	20,044	7.3	399	300.2	624	188.3	332	—

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 218百万円(△58.1%) 26年5月期第1四半期 521百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	2.93	—
26年5月期第1四半期	4.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	84,168	34,970	37.2
26年5月期	86,161	35,082	36.5

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 31,334百万円 26年5月期 31,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	2.50	—	3.50	6.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年5月期期末配当金の内訳 普通配当2円50銭 記念配当1円00銭

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,500	3.6	1,600	3.2	1,900	0.1	1,200	23.2	15.90
通期	92,000	4.2	3,500	9.5	4,000	5.6	2,500	12.4	33.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

※詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年5月期1Q	76,821,626株	26年5月期	76,821,626株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年5月期1Q	1,368,714株	26年5月期	1,367,939株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年5月期1Q	75,453,322株	26年5月期1Q	75,460,183株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、政府の経済政策効果により企業業績や雇用環境の改善がみられましたが、消費税率改定前の駆け込み需要の反動から、個人消費や企業の設備投資は落ち込みました。海外では、米国経済が堅調に推移しているものの、中国およびASEAN諸国では成長ペースの鈍化が続いております。

このようななか、当第1四半期における連結業績は、売上高198億55百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益2億53百万円（同36.5%減）、経常利益4億39百万円（同29.7%減）、四半期純利益2億21百万円（同33.5%減）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

#### (インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、受注物件が増加したことから売上は前年同期を上回りました。特に、循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS（エコス）」は国内受注だけでなく、海外への輸出も増加し、順調に売上を伸ばしております。一般家庭向けカーペット、ラグマットは、消費税率の改定による駆け込み需要の反動や、台風、集中豪雨等の天候不良も影響し、売上は前年同期を下回りました。カーテンでは、「U Life（ユーライフ）Vol.7」および「Face」が堅調に推移し、7月には「mode S（モードエス）Vol.7」を発売したものの、消費税率の改定による影響を受け、売上は前年同期をわずかに下回りました。壁紙では、「ルノンホーム1000」が売上を伸ばしましたが、量産タイプの「マークII」が苦戦し、売上は前年同期を下回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高76億76百万円（前年同期比3.2%減）、営業損失1億95百万円（前年同期 営業損失1億30百万円）となりました。

#### (自動車・車両内装事業)

自動車関連では、国内は消費税増税後の自動車の買い控えによる影響がみられました。海外は、タイにおいて、自動車購入補助金の終了の反動減と、政情不安による減産の影響を受けました。しかし米国においては、新規車種の受注と生産効率の向上などにより売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。また、前年に設立したメキシコとインドネシアの現地法人が計画通りに売上を伸ばしており、順調にグローバル展開を進めております。

車両関連では、鉄道向けは、北陸新幹線の内装受注が売上へ寄与するものの、リニューアル車両の実需の端境期となり、売上は伸び悩みました。バス向けは、訪日外国人旅行者の増加による観光バスの新車発注やマイクロバス「ローザ」の発注が好調に推移しており、オプション仕様による高付加価値商材の受注増加と合わせて売上は好調に推移しました。車両関連全体では売上高、営業利益ともに前年同期比で増加となりました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高110億85百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益7億22百万円（同18.3%減）となりました。

#### (機能資材事業)

ホットカーペットは、円安傾向と消費税の増税が影響し、メーカー各社が慎重な品揃えとなるなか、当社も減産となったものの、価格の適正化が図られ増収増益となりました。消臭・フィルター関連は受注の増加から好調に推移し、太陽光電池向けシリコンインゴットのスライス事業も堅調となりました。また、今年度は機能性資材関連の新規商材の立上げを控えております。

以上の結果、機能資材事業では、売上高10億57百万円（前年同期比81.4%増）、営業利益4百万円（前年同期 営業損失28百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ19億92百万円減少し841億68百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ18億79百万円減少し491億98百万円となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ1億12百万円減少し349億70百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内景気は、消費税率の改定による駆け込み需要の影響で、個人消費と民間設備投資に落ち込みがみられましたが緩やかな回復を続けております。一方、海外では、米国経済は堅調に推移しているものの、中国やASEAN諸国では景気の減速がみられ、先行き不透明な状況となっております。以上のような状況を踏まえ、平成26年7月11日に発表した第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直した結果、退職給付見込額の期間帰属方法については期間定額基準を継続適用し、割引率の決定方法については、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

なお、当該変更による損益等への影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,684	7,525
受取手形及び売掛金	22,098	21,254
有価証券	275	275
商品及び製品	8,861	10,338
仕掛品	1,924	1,543
原材料及び貯蔵品	3,668	3,688
その他	3,230	3,244
貸倒引当金	△20	△18
流動資産合計	49,722	47,851
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,263	17,260
その他(純額)	9,523	9,250
有形固定資産合計	26,787	26,510
無形固定資産		
476		480
投資その他の資産		
その他	9,325	9,476
貸倒引当金	△150	△150
投資その他の資産合計	9,175	9,326
固定資産合計	36,438	36,317
資産合計	86,161	84,168

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,649	19,097
短期借入金	11,064	10,725
未払法人税等	588	96
その他	4,522	4,364
流動負債合計	35,824	34,285
固定負債		
長期借入金	4,437	4,078
役員退職慰労引当金	271	248
退職給付に係る負債	4,030	3,981
負ののれん	44	22
その他	6,470	6,582
固定負債合計	15,253	14,913
負債合計	51,078	49,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	10,135	10,092
自己株式	△357	△357
株主資本合計	21,984	21,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,177	2,146
繰延ヘッジ損益	△14	13
土地再評価差額金	7,167	7,167
為替換算調整勘定	363	306
退職給付に係る調整累計額	△248	△241
その他の包括利益累計額合計	9,447	9,393
少数株主持分	3,651	3,635
純資産合計	35,082	34,970
負債純資産合計	86,161	84,168

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	20,044	19,855
売上原価	15,754	15,763
売上総利益	4,289	4,092
販売費及び一般管理費	3,890	3,838
営業利益	399	253
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	48	60
持分法による投資利益	66	62
不動産賃貸料	62	59
負ののれん償却額	22	22
その他	109	84
営業外収益合計	315	297
営業外費用		
支払利息	60	53
不動産賃貸費用	11	10
その他	18	47
営業外費用合計	90	111
経常利益	624	439
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	624	441
法人税、住民税及び事業税	124	127
法人税等調整額	65	36
法人税等合計	189	163
少数株主損益調整前四半期純利益	435	277
少数株主利益	102	55
四半期純利益	332	221



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	435	277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	△30
繰延ヘッジ損益	△38	6
為替換算調整勘定	160	△64
退職給付に係る調整額	—	6
持分法適用会社に対する持分相当額	8	23
その他の包括利益合計	86	△58
四半期包括利益	521	218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428	167
少数株主に係る四半期包括利益	93	51

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,931	11,502	583	20,016	28	20,044	—	20,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	1	7	127	81	209	△209	—
計	8,050	11,503	590	20,144	109	20,254	△209	20,044
セグメント利益 又は損失(△)	△130	884	△28	725	11	737	△338	399

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△338百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△344百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,676	11,085	1,057	19,820	35	19,855	—	19,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126	2	5	134	51	185	△185	—
計	7,803	11,087	1,063	19,954	86	20,041	△185	19,855
セグメント利益 又は損失(△)	△195	722	4	531	14	545	△291	253

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△291百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△297百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。